

青梅

ひとと生き物 イキイキプラン

【概要版】



“青梅ひとと生き物イキイキプラン”とは？

詳しくは本編へ！

第1・2・9章

“青梅ひとと生き物イキイキプラン”は、青梅市の生物多様性とその恵みを未来につなげるために、私たちが知っておきたいこと・取り組むことをまとめたものです。多くの「ひと」の参加・協働により、取り組みを進めます。

●対象区域：青梅市全域

●計画期間：2018年度から2027年度まで（10年間）

生物多様性とは、生き物の豊かな「個性」や「つながり」を示す言葉です。

同じ種類の生き物であっても、それぞれに「個性」があり、その「個性」を持った生き物が地域の環境や文化と結びついて、地域の風土の「個性」を形成しています。また、生き物どうしは、食べる－食べられるといった食物連鎖でつながり、樹林、水田・湿地、河川などの多様な生態系も、それぞれに関わりあっています。

「個性」と「つながり」は、長い進化の歴史によりつくり上げられてきたものであり、「生物多様性」が、さまざまな恵みを通して地球上の「いのち」とわたしたちの「暮らし」を支えています。

●わたしたちの暮らしは、生物多様性の恵み（生態系サービス）に支えられています。



< 基盤サービス >

酸素や水、窒素やリンなどの栄養塩は、植物の光合成や自然の物質循環によってつくられています。

< 調整サービス >

大気や水をきれいにし、気候を調整し、自然災害を防ぐことで、私たちの快適で安全な暮らしを支えています。



< 供給サービス >

私たちの暮らしに必要な食べ物や水、木材、繊維、医薬品の原料などを与えてくれます。

< 文化的サービス >

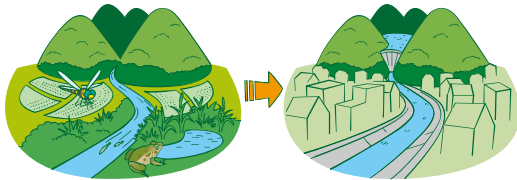
自然の中でのレクリエーションの楽しみや、自然景観、審美的・精神的な価値によって、私たちの暮らしを豊かにしています。



●生物多様性が危機にさらされています。（生物多様性をとりまく4つの危機）

開発など人間活動による危機

市街地化や森林伐採、河川改修などにより、生き物のすみかの減少や分断が起っています。



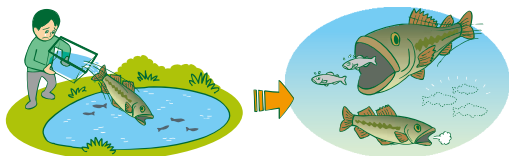
自然に対する働きかけの縮小による危機

里地里山のように人間活動によって維持されていた環境が、人による利用が減ることで、失われようとしています。



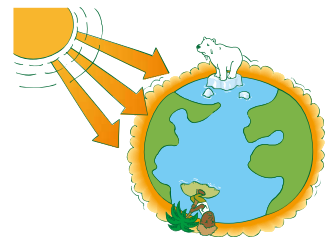
人間により持ち込まれたものによる危機

人為的に持ち込まれた外来種が、地域固有の生き物を食べ、すみかを奪ってしまい、もともっていた生き物を減少させています。



地球環境の変化による危機

地球温暖化などによる、気温や水温の上昇、降水量の変化などが、生態系に深刻な影響を与えています。

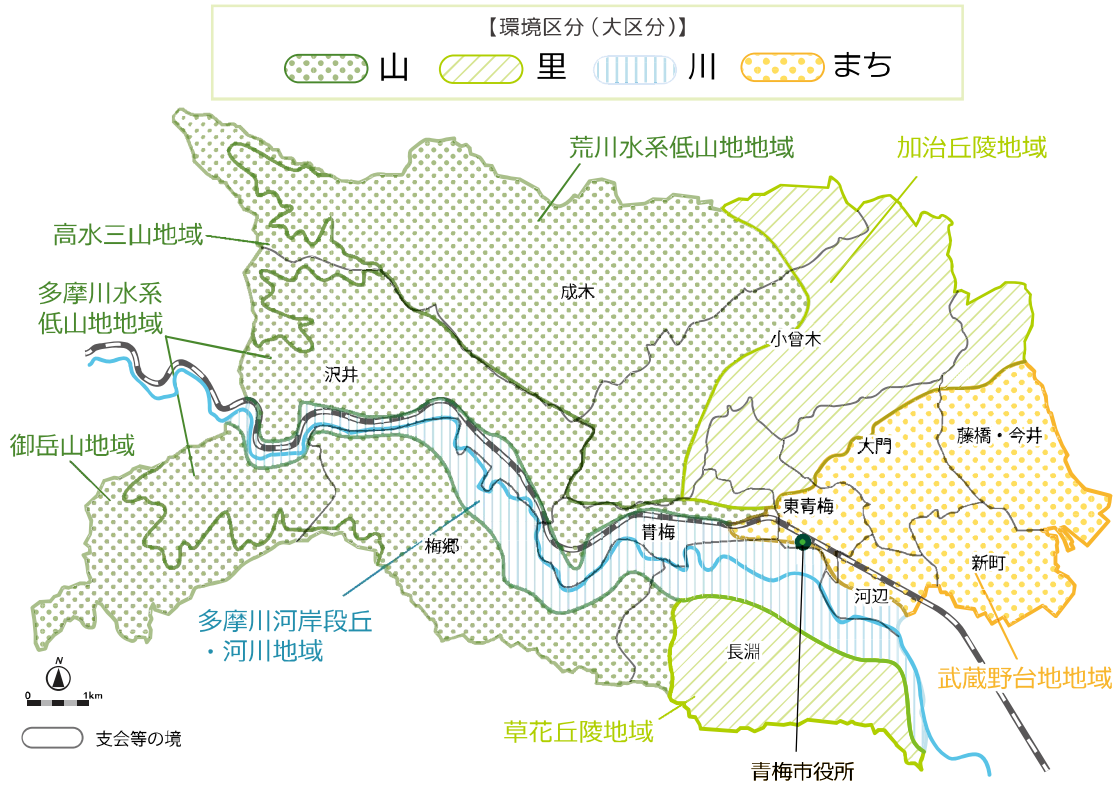


青梅市の自然環境の特徴

詳しくは本編へ！
第4章 1

青梅市の地形は、西部から中央部が山地、北東部と南東部が丘陵地、東部の台地が平地になっています。また、東西を横切るように多摩川沿いの平地が連なり、台地や多摩川沿いの平地は主に市街地が広がっています。

これらの地形の特徴等に沿って、市内の環境を整理すると「山」、「里」、「川」、「まち」の4つに区分してとらえることができます（大区分）。また、さらに詳細な区分を設け（小区分）、自然環境・生き物の特徴についての整理を行いました。



わたしたちの暮らしと生物多様性の恵み

詳しくは本編へ！
第4章 2

わたしたちは、農林業、観光、レクリエーションなどさまざまな分野で、生物多様性の恵みに支えられて暮らしています。たくさんの恵みの一部をご紹介します。

<自然資源の供給>



杉保、青梅材、西川材など



多摩川のアユ、飲み水、銘酒、こんにゃく、豆腐など

<豊かな文化の源>



武蔵御嶽神社、御岳山信仰、文豪による文学など

<レクリエーションの場>



花しょうぶ、レンゲショウマ、ツツジ、梅、カンタン、ホタルなど



青梅傘、織物、陶芸品、青梅綿など



沢井の柚子、二俣尾の桃、米、野菜、梅など



滝、崖線樹林、巨木・名木、山々の眺望など



観光農園での収穫体験、市民農園での農作業など



登山、森林浴、釣り、カヌーなど

青梅市の自然環境と生き物のいま 詳しくは本編へ! 第4章1

山・里・川・まちの環境区分ごとに、さまざまな生き物が生息・生育しています。

山

- 御岳山・高水三山周辺は、都内でも有数のブナ自然林がみられ、そこに固有の種が生息・生育しています。
- 谷沿いの溪流には、哺乳類のカワネズミや両生類のナガレタゴガエルなどが生息しています。
- 森には、ニホンカモシカ、ムササビをはじめ、多くの生き物が生息しています。レンゲショウマなどの植物もみられます。

「山」に含まれる地域
(小区分)

- ・ 御岳山地域
- ・ 高水三山地域
- ・ 多摩川水系低山地地域
- ・ 荒川水系低山地地域



丘陵



谷津



カタクリ



ホトケドジョウ

里

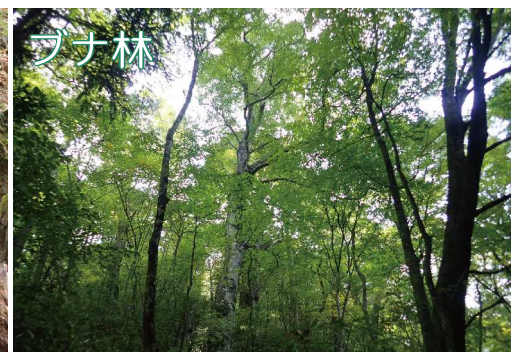
- 草花丘陵、加治丘陵などの丘陵地は、クヌギ、コナラなどの二次林に覆われており、林床にはキンラン、カタクリなどが生育しています。
- 谷津には、ホトケドジョウ、トウキョウサンショウウオなどが生息しています。
- オオタカやキツネ、ニホンリス、ニホンアナグマなどは、丘陵地の林や周囲の環境を広く利用しています。

「里」に含まれる地域
(小区分)

- ・ 加治丘陵地域
- ・ 草花丘陵地域



七代の滝



ブナ林



レンゲショウマ



ムササビ

川

- 多摩川には、アユ、ウグイなどの魚が生息しています。上流の岩場には、カジカガエルなどの両生類やユキヤナギなどの植物がみられます。
- 下流の河原には、カワラノギク・カワラニガナなどの植物やイカルチドリなどの水辺の鳥、カワラバッタなどの昆虫がみられます。
- 崖線樹林は、サギ類の営巣地として利用されています。

「川」に含まれる地域
(小区分)

- 多摩川河岸段丘
- 河川地域



まち

- 市街地には、ムクドリやスズメ、ツバメなどの身近な鳥類が生息しています。
- 一部に残された耕作地や平地林では、キンランなどの植物や、ハタケノウマオイ・カブトムシなどの昆虫類がみられます。
- 霞川沿いのまとまった水田には、トウキョウダルマガエルが生息しています。

「まち」に含まれる地域
(小区分)

- 武蔵野台地地域

